

副専攻名 グローバルDEI					
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)					
多様性に溢れ、公正な共生社会を築いていくために必須である社会、歴史、文化、政治に関する知識を身につけ、21世紀が抱えるさまざまな課題について考えるための基礎力を獲得することを目標とする。52科目から20単位以上を選択履修する。					
副専攻の学習成果					
自己の専攻分野に加えて、学際的な視野から多様性、公正さ、包括性に関する基礎的な知識と理解を得ることで、多様な共生社会構築に国内外で貢献する際に効果的な役割を果たせるようになると期待される。					
副専攻を構成する科目					
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1	
				前期	後期
16479	国際関係論	国際関係論の概念や理論を学びながら、国際社会の諸問題について考察する	2～4		
16269	国際関係論E	国際関係論の概念や理論を英語で学びながら、国際社会の諸問題について考察する	2～4		
16209	国際協力論1	発展途上国へのODAの意義、実態等を学ぶ。	2～4		
16409	国際協力論2		2～4		
16069	国際公共政策論	国際法、国際機構、対途上国援助の概要を学ぶ。	2～4		
16480	比較教育学1E	様々な国の高等教育の比較をととして文化と教育の関係性などについて英語で理解する。	2～4		
16481	比較教育学2E		2～4		
16482	比較教育学3E		2～4		
16483	比較教育学4E		2～4		
16049	国際コミュニケーション論	国際政治におけるマスメディアの役割、影響等について理解する。	2～4		
16264	国際開発論1	いくつかの経済発展モデルと実際の帰結について、経済学の観点から理解する。	2～4		
16464	国際開発論2		2～4		
16262	国際開発論1E	いくつかの経済発展モデルと実際の帰結について、経済学の観点から英語で理解する。	2～4		
16462	国際開発論2E		2～4		
52029	文化人類学概論A	文化人類学の基本的な考え方やものの見方を学び、自分とは異なる異文化・異社会の人びととの理解や協調の基礎作りをする。	3～4		
52030	文化人類学概論B		3～4		
16212	日本の思想と宗教1	仏教思想を中心に日本の思想と宗教に関する基礎的な知識と分析方法を習得する。	2～4		
16412	日本の思想と宗教2		2～4		
16265	日本民俗文化論1E	日本文化の理解を目指すために、日本国内外における人類学の研究調査に関する知識を養う。	2～4		
16465	日本民俗文化論2E		2～4		
16238	日本文化体験A	留学生とともに日本、特に石川県内に様々な形で伝えられる伝統文化、伝統工芸などについて体験を通してその魅力を学ぶ。	2～4		
16239	日本文化体験B		2～4		
16477	日本文化体験C		2～4		
16478	日本文化体験D		2～4		

副専攻名 グローバルDEI					
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)					
多様性に溢れ、公正な共生社会を築いていくために必須である社会、歴史、文化、政治に関する知識を身につけ、21世紀が抱えるさまざまな課題について考えるための基礎力を獲得することを目標とする。52科目から20単位以上を選択履修する。					
副専攻の学習成果					
自己の専攻分野に加えて、学際的な視野から多様性、公正さ、包括性に関する基礎的な知識と理解を得ることで、多様な共生社会構築に国内外で貢献する際に効果的な役割を果たせるようになると期待される。					
副専攻を構成する科目					
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1	
				前期	後期
52210	東アジア国際交流史1	・自分たちが生きている地域と東アジア諸地域との交流史に関する理解を深め、国際化に対応した地域へのアイデンティティを形成する。 ・自分が今まで持っていた東アジアについての歴史意識を再検討する作業を通じて、問題意識や批判的・論理的な思考力を養う。	2～4		
52710	東アジア国際交流史2	・グローバル化の時代に必要な歴史意識や価値観を身につける。	2～4		
52245	東アジア社会と教育A1	比較教育社会学の基本的な考え方を学びながら、学校・家族・企業など教育活動が行われている場所を具体例に挙げ、東アジア地域における社会構造と教育のあり方や関連を歴史的に比較するための柔軟な視点を身につける。	2～4		
52745	東アジア社会と教育A2		2～4		
52246	東アジア社会と教育B1		2～4		
52746	東アジア社会と教育B2		2～4		
52359	英語圏文化論1E	英語圏の文化表象の考察をととして現代の諸問題にかかわる価値観を分析し、それについて批判的に考えることができるようになる。	2～4		
52859	英語圏文化論2E		2～4		
16210 (10019※2)	異文化理解1	世界各地の文化(日本を含む)や国際的事象を相対的な視点から考察する能力と方法論を獲得する。	1		
16410 (10020※2)	異文化理解2		1		
52051	ジェンダーと社会A	グローバル化が進展する現代社会の諸課題を、ダイバーシティとジェンダーの視点から分析し、今後の望ましいあり方を考察する。	1～4		
52052	ジェンダーと社会B		1～4		
52053	比較ジェンダー論E	ジェンダー学全般の理解と国際社会及び日本の男女平等の現状を広く学ぶ。	2～4		
52055	マイノリティとメディア文化論1E	20世紀から21世紀における欧米圏やアジア圏のクィア・LGBT映画史の発展を概観し、映画にみるセクシュアリティ、ジェンダー、人種・民族、障がい、身体と社会規範の関係を批判的に分析する視点を身につける。	2～4		
52056	マイノリティとメディア文化論2E		2～4		
52350	米英メディア文化論1E	20世紀から21世紀における欧米圏やアジア圏のクィア・LGBT映画史の発展を概観し、映画にみるセクシュアリティ、ジェンダー、人種・民族、障がい、身体と社会規範の関係を批判的に分析する視点を身につける。	2～4		
52850	米英メディア文化論2E		2～4		

副専攻名 グローバルDEI					
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)					
多様性に溢れ、公正な共生社会を築いていくために必須である社会、歴史、文化、政治に関する知識を身につけ、21世紀が抱えるさまざまな課題について考えるための基礎力を獲得することを目標とする。52科目から20単位以上を選択履修する。					
副専攻の学習成果					
自己の専攻分野に加えて、学際的な視野から多様性、公正さ、包括性に関する基礎的な知識と理解を得ることで、多様な共生社会構築に国内外で貢献する際に効果的な役割を果たせるようになると期待される。					
副専攻を構成する科目					
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1	
				前期	後期
52535	憲法(人権)A	日本国憲法の人権カタログに相当する、第3章「国民の権利及び義務」に定められた人権諸規定に関する学説・判例の動向を検討し、日本国憲法の人権規定が現実の政治状況においてどのような役割を果たしているかについて理解する。	2～4		
52536	憲法(人権)B		2～4		
52252	イスラーム社会と文化	イスラームの基礎的事項と、世界のイスラームの多様性を理解し、ともに生きるための考え方を学ぶ。	3～4		
16221	日本語教育学基礎1	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教育をグローバルな視野で概観できる。 ・日本語教育の視点から、現在、世界や日本で起こっている現象を理解する。 ・外国人から見た日本語についてや、日本語を外国語として教えるための基礎的な事項を理解する。 	2～4		
16421	日本語教育学基礎2		2～4		

※1 開講期は、Webシラバスでご確認ください。

※2 学域GS科目として履修する場合の科目番号